

倉吉市議会業務継続計画（議会 BCP）に係る 令和 5 年度情報伝達訓練実施計画

1 訓練の目的等

倉吉市議会では、令和 5 年 3 月に倉吉市議会業務継続計画（議会 BCP）（以下「本計画」という。）を策定した。

本計画を実効性のあるものにするためには、定期的に訓練を行い、計画内容を実際に経験し慣れておくことが不可欠である。又、実際に訓練を行うことによって、見落としていた計画の問題点を見つけ出すことができ、計画をより良いものに改善することが可能となる。

本計画の土台となるのは、情報の正確な伝達とそれに対する各人の反応であることから、計画策定後の初めての訓練として、情報伝達訓練を実施する。

2 想定

令和 5 年 7 月 10 日（月）午前 11 時に倉吉市を震源とする震度 6 強の地震が発生した。

3 情報伝達訓練実施日時

令和 5 年 7 月 10 日（月）

午前 11 時 00 分～（1 時間程度）

4 訓練参加者

- (1) 全倉吉市議会議員
- (2) 議会事務局の全職員

5 訓練概要

(1) 安否確認訓練

想定地震発生日時に合わせて、議会事務局が緊急地震速報の代わりとして地震発生を全議員に連絡する。

全議員及び議会事務局職員は自己の安否状況を議会事務局に複数の情報伝達手段で連絡する。安否情報が確認できない方には、議会事務局から確認の連絡をとり安否を確認する。

【情報伝達手段の例】

- ①メール ②ラインワークス ③電話

複数の連絡方法を使用する。

※伝達文面

例：市議会議員の〇〇です。ケガもなく元気です。

(2) 議長との情報伝達訓練

議会 BCP の発動等について、議長と協議をする必要があることから、議長と情報伝達訓練を行う。

【情報伝達手段の例】

- ①メール ②ラインワークス ③電話

※伝達文面

職員：議長、災害対策本部が非常体制に移行しました。議会 BCP の発動基準に達していますが、議会 BCP 発動のご判断をお願いします。

議長：議会 BCP を発動します。倉吉市災害対策連絡会議を招集してください。

(3) 倉吉市災害対策連絡会議情報伝達訓練

- 議長の指示を受け、議会事務局が倉吉市災害対策連絡会議委員にメール、ラインワークスで会議開催を連絡する。

※伝達文面

議長が、議会 BCP の発動を宣言されました。倉吉市災害対策連絡会議委員（議長、副議長、各常任委員会委員長、3人以上の議員で構成する会派の代表者）は今すぐ議会事務局に参集してください。また、参集可能時間をお知らせください。

- 倉吉市災害対策連絡会議委員は、会議開催の連絡を確認したこと、及び、参集可能時間を議会事務局に連絡する。

【情報伝達手段の例】

- ①メール ②ラインワークス ③電話

※伝達文面

市会議員の〇〇です。倉吉市災害対策連絡会議の開催を了解しました。午後〇〇時には参集可能です。

実地訓練はこれで終了

(4) まとめとして（後日）

各議員からの情報伝達時間等を整理し、訓練のまとめを行う。各議員から訓練に対する意見をメール等で聞き、今後の訓練に活かす。